

鳥取県地震

2021年（令和3年）2月

鳥取地方気象台

目次

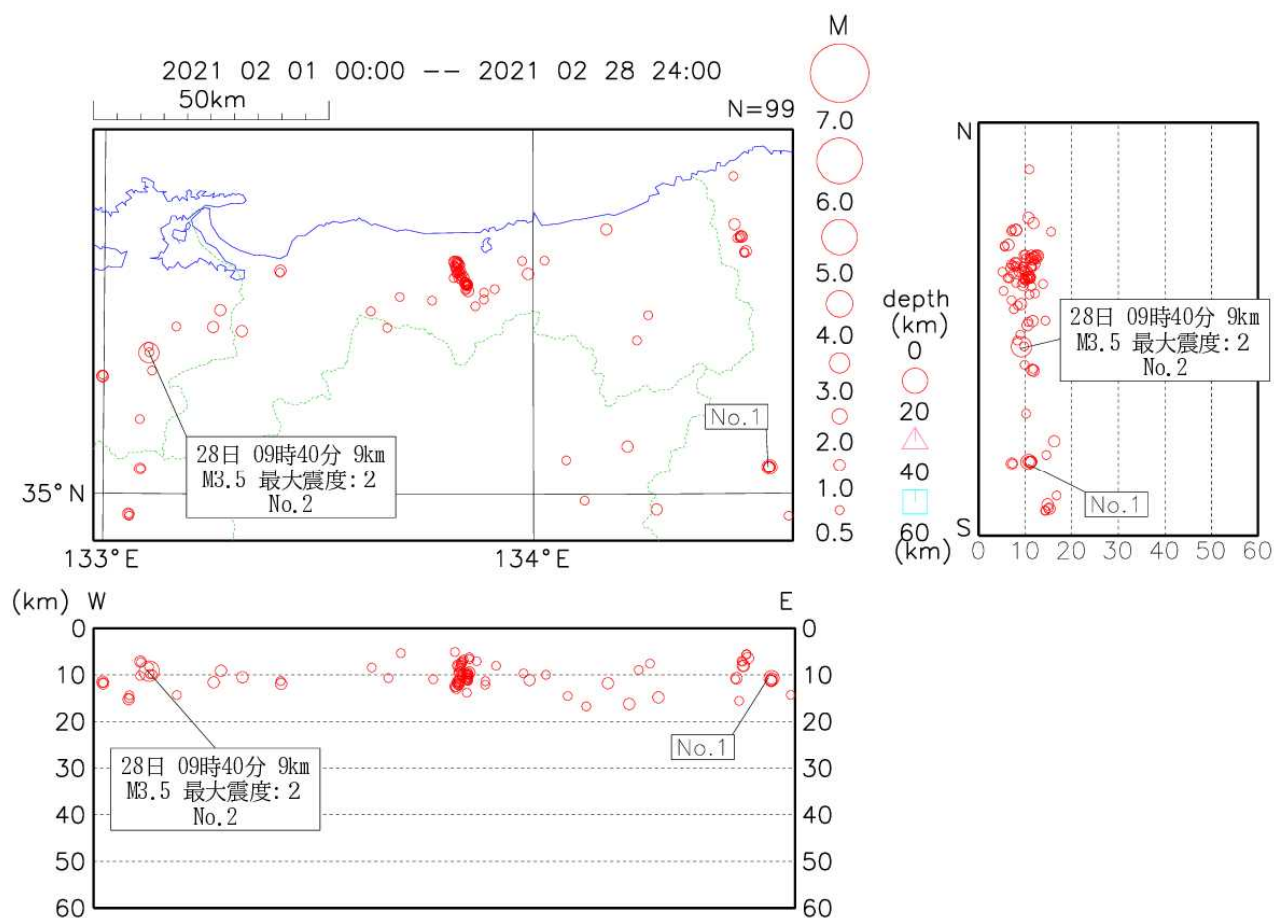
(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
震源リスト（M2.0以上）	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
推計震度分布図	4

- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。
- ・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概 況]

2021年2月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回でした（先月は無し）。

13日23時07分 福島県沖の地震（深さ55km、M7.3）により、宮城県蔵王町、福島県国見町・相馬市・新地町で震度6強を観測したほか、北海道・東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国地方にかけて震度6弱～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市・境港市・北栄町で震度1を観測しました。

28日09時40分 島根県東部の地震（深さ9km、M3.5）により、島根県松江市・奥出雲町で震度2を観測したほか、鳥取県、島根県、広島県で震度1を観測しました。鳥取県内では、米子市・日野町・南部町で震度1を観測しています。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は2回（前月は2回）でした（番号は震源リストに対応）。

[震源リスト(震央分布図内のM2.0以上の震源リスト)]

期間 : 2021年2月1日00時00分～2021年2月28日24時00分

緯度 : 34° 55' ～35° 45' N 経度 : 133° 00' ～134° 40' E

深さ : 0 km～60 km

No.	発震時(年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	マグニ チュード	最大 震度
1	2021年02月12日20時41分	兵庫県南西部	35° 3.0' N	134° 32.9' E	11	2.0	—
2	2021年02月28日09時40分	島根県東部	35° 16.2' N	133° 6.2' E	9	3.5	2

(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

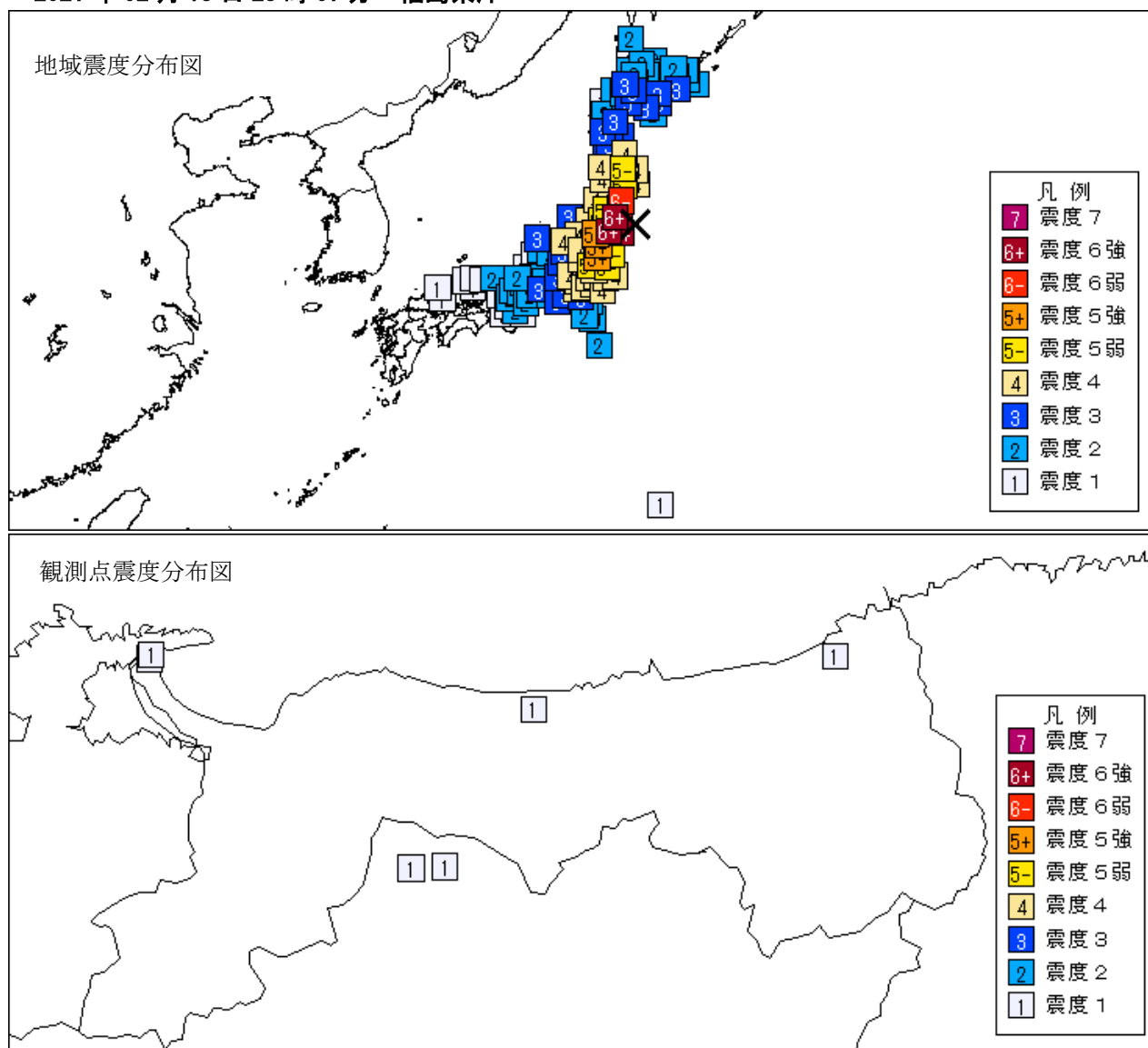
[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

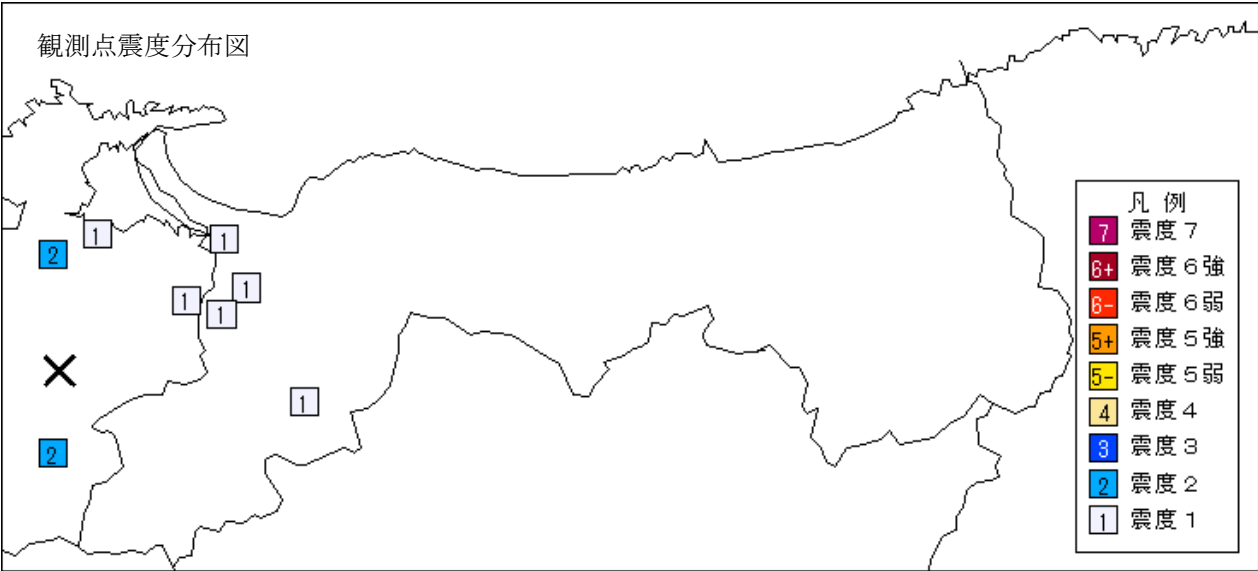
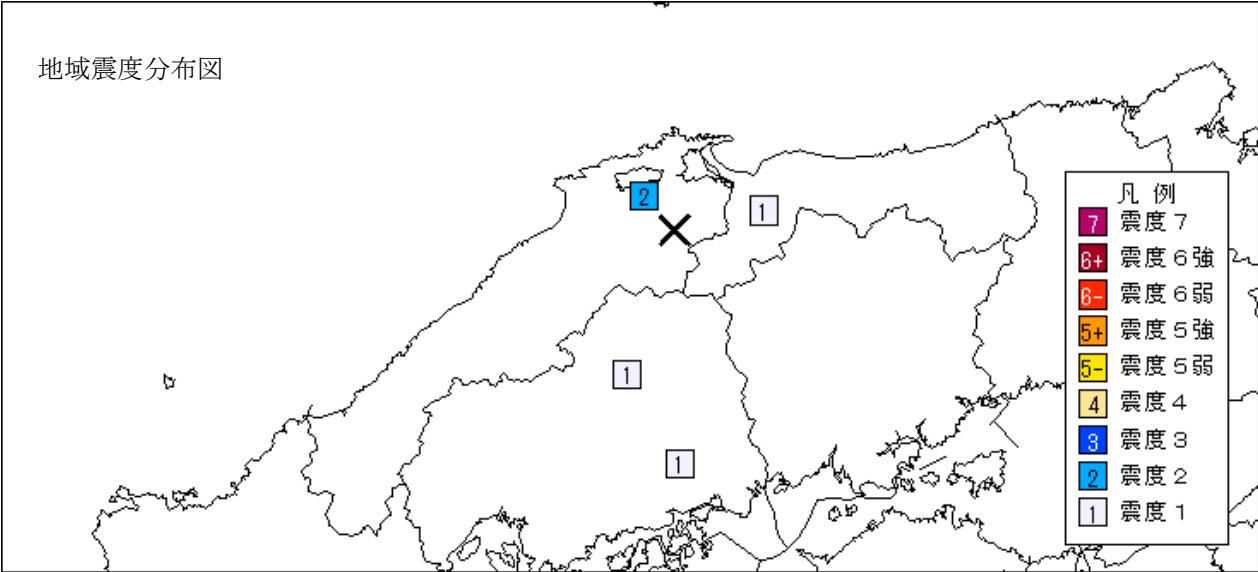
発震時 (年 月 日 時 分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2021 年 02 月 13 日 23 時 07 分	福島県沖	37° 43.7' N	141° 41.9' E	55km	M7.3
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 北栄町土下*, 境港市東本町, 境港市上道町*					
2021 年 02 月 28 日 09 時 40 分	島根県東部	35° 16.2' N	133° 06.2' E	9km	M3.5
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 米子市東町*, 鳥取日野町根雨*, 鳥取南部町法勝寺*, 鳥取南部町天萬*					

*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]

2021 年 02 月 13 日 23 時 07 分 福島県沖





(3) 地震・津波の知識

推計震度分布図

前回お話しした地震情報で提供される震度は、あくまでも計測震度計が設置されている場所の揺れを示す、いわば点の情報です。基本的に震度計は各地の中心地域に設置されていますが、同じ地域内でも地盤の地質が異なれば、その揺れは大きく変わってきます。

この地域内における揺れの特性を加味して、面的に震度の分布を予想し提供しているのが**推計震度分布図**です。

推計震度分布図は、各地の震度計で観測された震度をもとに、地表付近の地盤の増幅度（地表付近における揺れの大きくなりやすさを示す指標）を使用して1km四方の格子間隔で震度を推計し、震度計のない場所も含めて震度を面的に表現したものです。原則として全国で震度5弱以上を観測した地震について提供します。

図を活用する場合、大きな震度の面的な広がり具合やその形状に着目することが重要です。また、推計された震度の値は、場合によって1階級程度異なることがあります。

また、図1のように震央を示す「×」の場所が地上での一番大きな揺れと一致していないこともよくあります。どの地域が大きな揺れになったかを把握する際には、震央の位置にこだわることなく推計震度分布図をご活用ください。

推計震度分布図は、地震後20分程度で気象庁ホームページから提供します。

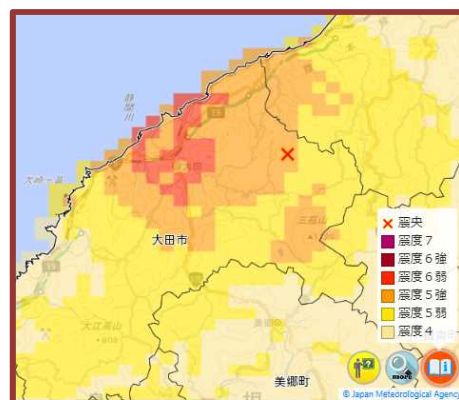
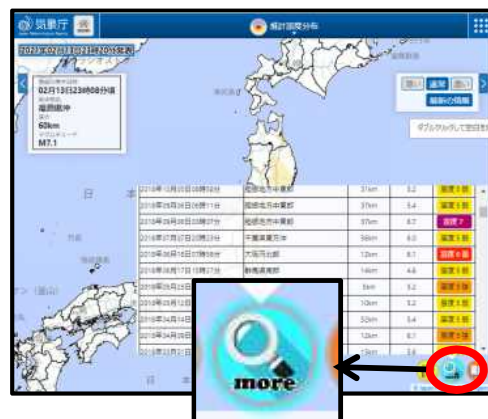


図1 2018年4月 島根県西部の地震における推定震度分布図。
震央「×」の西側に、大きな揺れの領域が推定されている。



推計震度分布図



最新の地震が表示される。
右下「more」ボタンで過去の地震が選択できる。

(参考)

- 推定震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 推定震度分布について
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/suikei/kaisetsu.html>
- 防災科研:表層地盤増幅率と揺れやすさの関係について
<https://www.j-shis.bosai.go.jp/faq-siteamp-and-shakiness>

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和3年2月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

U R L <https://www.data.jma.go.jp/tottori/bosai/jishin/jishin.html>

出前講座問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857－29－1313